

六回シリーズ

「貯蓄から投資へ」

(第四回)

『新春号』

「新年明けましておめでと〜い〜い〜います〜」

「貯蓄から投資へ」と時代が大きく変わりつつある  
 昨今、金融に関するお話をみなさまに分かりやすく、  
 六回シリーズで連載させていただきます。

二〇〇六年を振り返ると、五、六月の原油価格の急騰とインフレ期待の高まりを、世界の中央銀行がこぞってタカ派的スタンスを採り沈静化させたことが、最も重要なイベントで、その後、米国景気の減速が穏やかに進み、原油価格が下落に転じ、インフレ指標が好転したことで、FRB(米連邦準備制度理事会)は金融市場での信任を回復できたと思えます。〇六年八月に米国が利上げを休止し、長期金利が低下したことで、〇七年後半からの米国景気の再拡大の確度が高くなったと思われま

す。一方、日本経済及び日本株に目を転じると、景気モメンタム(勢い)の鈍化から、世界の株高に乗り遅れた感じがありました。証券税制問題等が決着したのを機に、出遅れ感の修正を見せています。

このほか、中国の外貨準備の増加を背景に流動性相場の動きを見せる香港株や金融緩和や財政支出の拡大で景気回復が期待されるアセアン株、更にインド、ロシアなどのエマージング諸国(新興国)株にも妙味があるうと思われま

す。注目される可能性があまりです。また、十四兆円に及ぶ退職金支払いが住宅リフォームなどに使われる可能性もみておきたいと思えます。また五月には、新会社法での三角合併の解禁があります。国内の買収防衛策の整備を待ったために、一年間延期された三角合併、すなわち、外国企業子会社による親会社株式を使った株式交換方式での国内企業買収が認められます。このため、資産価値と比べて割安な低PBR(株価純資産倍率)銘柄が注目されやすくなると思われま

す。更に、七月には参議院選挙があります。この選挙に安倍政権が勝利すれば、法人減税や研究開発減税などの成長戦略が加速し、成長株の見直しが起きると思えます。逆に、負けると日本株の投資環境に不透明感が出ると思えます。〇七年後半の日本株の動きを左右するイベントになると思われます。

野村週報二〇〇七年新年号より抜粋

事実、米国景気は住宅投資の大幅な落ち込みを別にすれば、個人消費、設備投資ともしっかりと動いた動きを続けており、住宅投資が底入れすれば、成長率が回復する構図にあると思われま

す。〇七年後半には力強さを回復、〇七年度下期の企業業績は再び二桁増益を取り戻すと思われま

す。製造業の利益、時価総額構成比が高

く、景気敏感株の性格が強い日本株も上昇に向かうと思われま

す。また、中国の外貨準備の増加を背景に流動性相場の動きを見せる香港株や金融緩和や財政支出の拡大で景気回復が期待されるアセアン株、更にインド、ロシアなどのエマージング諸国(新興国)株にも妙味があるうと思われま

す。注目される可能性があまりです。また、十四兆円に及ぶ退職金支払いが住宅リフォームなどに使われる可能性もみておきたいと思えます。また五月には、新会社法での三角合併の解禁があります。国内の買収防衛策の整備を待ったために、一年間延期された三角合併、すなわち、外国企業子会社による親会社株式を使った株式交換方式での国内企業買収が認められます。このため、資産価値と比べて割安な低PBR(株価純資産倍率)銘柄が注目されやすくなると思われま

野村週報二〇〇七年新年号より抜粋

**経営者の退職金制度を知っていますか?**

「小規模企業共済」ってのは  
 経営者が事業をやめたり、  
 役員を退いたときなどに備える  
**退職金制度**  
 なんだった!

毎月3万円の  
 掛金(年間36万円)で  
 例えば課税対象所得  
 400万円の方ならば  
**108,000円の節税!**  
 にもなるのよ!

将来もらえる共済金は  
 一括で受け取ると  
**退職所得扱い**  
 になって税制上の  
 Wメリット!

本制度についてのお問い合わせ・お申し込みは  
**新発田商工会議所** TEL (0254) 22-2757  
 〒957-8550 新潟県新発田市中央町4-10-10 FAX (0254) 23-5885

キリトリ線  
 小規模企業共済の資料を請求します。(FAXまたはハガキで!)  
 住 所・〒 \_\_\_\_\_ TEL \_\_\_\_\_

お 名 前 \_\_\_\_\_  
 (カタカナでご記入下さい。)

本制度は、独立行政法人 中小企業基盤整備機構が運営しております。

機 関